

「自律的移動支援プロジェクト」に関するシンポジウムの 開催について

～「21世紀COE次世代ユビキタス情報社会基盤の形成

第二回シンポジウム：自律的移動支援プロジェクト」のご案内～

国土交通省では、ユビキタスネットワーク技術を活用し、移動に関する情報を「いつでも、どこでも、だれでも」が利用できることで、すべての人々が安心して快適に移動できる環境づくりを目指す「自律的移動支援プロジェクト」を推進しております。先般9月30日より、神戸においてプレ実証実験を開始いたしました。

また、東京大学大学院情報学環・学際情報学府学際情報学専攻は、「次世代ユビキタス情報社会基盤の形成」のテーマで、本年度の文部科学省「21世紀COEプログラム」に採択されました。このたび、これを記念するとともに、今後の「自律的移動支援プロジェクト」の展開について多くの方々にご理解をいただくため、東京大学及び国土交通省の主催でシンポジウムを開催することといたしましたので、下記のとおりご案内いたします。

記

「21世紀COE次世代ユビキタス情報社会基盤の形成

第二回シンポジウム：自律的移動支援プロジェクト」

1. 日 時 : 平成16年11月16日(火) 14:00～17:00 (13:30～受付開始)
2. 場 所 : 東京大学大講堂(安田講堂)
〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス
3. 主 催 : 東京大学大学院情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
国土交通省
4. プログラム
 - ・主催者挨拶(東京大学、国土交通省)
 - ・基調講演 坂村 健(東京大学大学院情報学環副学環長・教授、
21世紀COEプログラム「次世代ユビキタス
情報社会基盤の形成」拠点リーダー、
自律的移動支援プロジェクト推進委員会委員長)
 - ・神戸実証実験の展開について 藤本 貴也(国土交通省近畿地方整備局長)
 - ・パネルディスカッション 坂村 健
大石 久和((財)国土技術研究センター理事長)
川嶋 弘尚(慶應義塾大学教授)
5. 参加無料(定員:1,200名)
 - ・参加申し込み方法は別紙をご覧ください。
6. 報道取材
 - ・当日の取材は、傍聴、撮影とも、シンポジウム開始から終了まで可能です。

<問い合わせ先>

政策統括官(国土・国会等移転担当) 付政策調整官室
松本、佐瀬(内線53112、53116)
TEL: 03-5253-8111(代表)
03-5253-8795(直通)

プログラム

- 13:30～ 受付開始
- 14:00～14:10 主催者挨拶
東京大学
国土交通省
- 14:10～14:55 基調講演
坂村 健（東京大学大学院情報学環副学環長・教授、
21世紀COE「次世代ユビキタス情報社会基盤整備の形
成」拠点リーダー、
自律的移動支援プロジェクト推進委員会委員長）
- 14:55～15:10 神戸実証実験の展開について
藤本 貴也（国土交通省近畿地方整備局長）
- 休憩（5分）
- 15:15～16:50 パネルディスカッション
坂村 健
大石 久和（財団法人 国土技術研究センター理事長、
自律的移動支援プロジェクト推進委員会プロジェクト顧問）
川嶋 弘尚（慶應義塾大学理工学部管理工学科教授、
自律的移動支援プロジェクト推進委員会委員）
- 16:50～17:00 閉会

申し込み方法

お申し込み先 coe-symposium@sakamura-lab.org

なお、会場には駐車場はございませんので、お車でのご来場はご遠慮ください。

21世紀 COE 次世代ユビキタス 情報社会基盤の形成

第二回 自律的移動支援プロジェクト

場所に情報をくくりつけるという基本コンセプトの元に、状況に応じた適切な情報やサービスが自動的に呼び出せるという国土情報インフラを作る。それを目指した「自律的移動支援プロジェクト」を実例として、ユビキタス情報社会を目指しての技術設計と制度設計の関係、技術開発やプロジェクト推進の新しい形について考えるシンポジウムを行います。ぜひお集まりください。

■日時

平成16年11月16日(火) 14:00~17:00

(13:30~ 受付開始)

■会場

東京大学大講堂(安田講堂)

■住所 〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 東京大学本郷キャンパス

■主催 東京大学大学院情報学環・学際情報学府学際情報学専攻
国土交通省

■申し込み方法

氏名・所属・連絡先をご記入の上、以下の電子メールアドレスでお申し込みください。

なお申し込みの受け付けのお返事はいたしません。定員が超過しお断りする時のみご連絡いたします。

申し込み先: coe-symposium@sakamura-lab.org

※会場には駐車場はございませんので、車でのご来場はご遠慮ください。

自律的移動支援プロジェクトの推進

- ◇ ユニバーサルデザインのまちづくりに向け、誰もが安心して快適に移動できる環境をつくりあげる
- ◇ ITを活用し、「いつでも、どこでも、だれでも」が移動時に必要な情報を利用できるシステムを構築
- ◇ 関係省庁との連携のもと、民間活力を最大限活用して実証実験を実施し、官民が共同して参画できるシステム仕様等を策定

社会のニーズ

安心して移動できる環境整備

- ◇ 高齢者、障害者等の社会参画機会の確保
- ◇ 観光客の受入環境の整備

技術のシーズ

ITの急速な進展

- ◇ ICタグ等の情報発信機器の小型化、低価格化、高機能化
- ◇ 携帯電話の普及、ブロードバンド環境の整備

ITの活用によるハードソフトの一体化

場所が話しかける新しいサービスを実現

身体的状況に応じて移動経路、交通手段、目的地等の情報を必要な形でリアルタイムに提供



目的地の正確な位置を音声や振動で案内

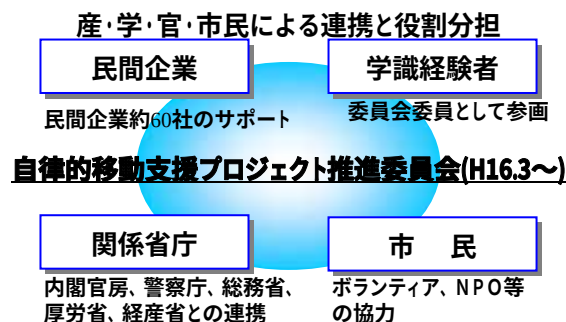


すべての情報を1つの携帯端末で入手



交通手段や場所の情報を多言語で提供

関係機関等との連携のもとオープンな環境でつくりあげる



オープンなシステムでつくりあげる

実証実験を積み重ね技術を研鑽

汎用性・拡張性のあるシステム

民間等サービス創出

国際標準 (Global Standard)をめざす

わが国の最先端技術を世界に発信

スケジュール

H16年度

情報提供項目等システム検討
現地検証(神戸)

H17年度

支援システムの検証
仕様の策定

ユニバーサルデザインのまちづくり

逐次
各地に
展開